

# 令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 今町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<p>○「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てているか」の問いに肯定的な回答は100%であり、自己の課題を解決しようとしたり、技能を身につけようとしたりして、意欲的に活動できていると考えられる。</p> <p>○「体育の学習は楽しいか」「体育の学習に進んで参加しているか」の問いに対して、90%以上が肯定的な回答であった。理由として「記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき」「できなかったことができるようになったとき」「友達と交流したり、きょうりよくできたとき」などの全ての項目で肯定的な回答が100%であり、体育科の授業を通して仲間と協力して達成感を味わう場面が多いと考えられる。</p> <p>○生活習慣においては、毎年のことではあるが、スクリーンタイムの長さ、睡眠時間の短さ、朝食の欠食などが課題として上げられ、家庭と連携して改善の必要がある。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>○体育科授業において、単元の始めに昨年度の記録等を個人カードで確認し、自己の記録や出来栄の伸びを比べることで、成長や努力を実感できるようにする。</p> <p>○体育科用の掲示板を準備し、新体力テストの各学年の記録上位者を掲示したり、持久走の記録が伸びた児童名を掲示したりすることで自己肯定感の向上を図る。</p> <p>○縄跳びや持久走を委員会の取組と関連付け、児童が運動に親しみ、自分の体力に関心をもてるように、中休みや昼休みに委員会主導で全校児童が体力向上に向けた取組を行う。</p>
--

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>○持久走大会の取組を通して、運動の基礎となる全身持久力の向上を図るとともに、保護者も参観できる機会を設け、運動に継続的に取り組む大切さを啓発していく。</p> <p>○生活がんばり表を全児童に配布し、児童自身はもちろんのこと、保護者も生活習慣を把握、改善できる機会とした。また、生活リズムや朝食、水分補給の大切さについて養護教諭が授業を行い、朝食等の重要性について考える機会とした。これらの取組を継続して行い、朝食の欠食率の減少、スクリーンタイムの減少と睡眠時間の確保につなげていく。</p>
---